

商品名 ルボックス錠25 医薬品基本情報

薬効	1179 その他の精神神経用剤	一般名	フルボキサミンマレイン酸塩錠
英名	Luvox	剤型	錠
薬価	14.10	規格	25mg 1錠
メーカー	アッヴィ	毒劇区分	

ルボックス錠25の効能・効果

強迫性障害、社会不安障害、うつ状態、うつ病

ルボックス錠25の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、モノアミン酸化酵素＜MAO＞阻害剤投与中あるいは投与中止後2週間以内、ピモジド投与中、チザニジン塩酸塩投与中、ラメルテオン投与中、メラトニン投与中	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 心疾患のある高齢者	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	慎重投与
3. 痙攣性疾患又はその既往、てんかん又はその既往、自殺企図の既往、自殺念慮又はその既往、躁うつ病、脳器質的障害、統合失調症素因、衝動性が高い併存障害、心疾患、出血性疾患の既往、出血性素因、眼内圧亢進、緑内障、重度腎機能障害、肝機能障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

ルボックス錠25の副作用等

1. 自殺念慮、自殺企図	記載場所	効能・効果
	頻度	頻度不明
2. 痙攣、意識レベル低下、意識消失、意識障害、ショック、アナフィラキシー、セロトニン症候群、錯乱、発熱、ミオクロヌス、振戦、協調異常、発汗、昏睡状態、急性腎障害、死亡、悪性症候群、無動緘黙、強度筋強剛、嚥下困難、頻脈、血圧変動、白血球増加、血清CK上昇、ミオグロビン尿、腎機能低下、高熱が持続、呼吸困難、循環虚脱、脱水症状	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
3. 白血球減少、血小板減少	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明

4. 著しいAST上昇、著しいALT上昇、著しいγ-GTP上昇、著しい総ビリルビン上昇、肝機能障害、黄疸	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
5. 低ナトリウム血症、低浸透圧血症、尿中ナトリウム増加、高張尿、意識障害、抗利尿ホルモン不適合分泌症候群、SIADH、食欲不振、頭痛、嘔気、嘔吐、全身倦怠感	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
6. せん妄、錯乱、幻覚、妄想	記載場所	重大な副作用
	頻度	5%未満
7. 眠気、嘔気、悪心、口渇、便秘	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
8. 激越、性欲障害、徐脈、過敏症、光線過敏性反応、紫斑、胃腸出血、斑状出血、異常出血、貧血、尿失禁、尿閉、低ナトリウム血症、乳汁漏出、高プロラクチン血症、月経異常、勃起障害、射精障害、性機能異常、関節痛、筋肉痛、浮腫、発熱、しゃっくり、味覚異常、散瞳、緑内障	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
9. めまい、ふらつき、立ちくらみ、振戦、アカシジア様症状、顎不随意運動、開口障害、頬筋痙攣、錐体外路障害、頭痛、不眠、頭がボーっとする、ぼんやり、集中力低下、記憶減退、動作緩慢、あくび、圧迫感、抑うつ感、神経過敏、焦燥感、不安感、躁転、気分高揚、舌麻痺、言語障害、しびれ、運動失調、知覚異常、異常感覚、冷感、頻脈、動悸、血圧上昇、低血圧、起立性低血圧、発疹、蕁麻疹、湿疹、そう痒感、白血球減少、ヘモグロビン減少、血清鉄上昇、血清鉄低下、AST上昇、ALT上昇、γ-GTP上昇、LDH上昇、ALP上昇、肝機能障害、嘔吐、下痢、腹痛、腹部膨満感、食欲不振、消化不良、空腹感、口腔内粘膜腫脹、排尿困難、排尿障害、頻尿、乏尿、BUN上昇、尿蛋白陽性、血清カリウム上昇、血清カリウム低下、血中ナトリウム低下、倦怠感、脱力感、上肢虚脱、息切れ、胸痛、熱感、ほてり、灼熱感、発汗、視調節障害、眼痛、眼圧迫感、眼がチカチカする、耳鳴、鼻閉、苦味、歯がカチカチする、体重増加、脱毛、CK上昇	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
10. 嘔気、悪心	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
11. 不安、焦燥、興奮、パニック発作、不眠、易刺激性、敵意、攻撃性、衝動性、アカシジア、精神運動不穏、軽躁、躁病、自殺念慮、自殺企図、他害行為、不安増悪、焦燥増悪、興奮増悪、パニック発作増悪、不眠増悪、易刺激性増悪、敵意増悪、攻撃性増悪、衝動性増悪、アカシジア増悪、精神運動不穏増悪、軽躁増悪、躁病増悪、頭痛、嘔気、めまい、不安感、集中力低下、躁転、房室ブロック、心室頻拍、呼吸困難、振戦、筋緊張異常、痙攣、傾眠傾向、意識障害、嘔吐、哺乳困難、持続的な泣き、薬物離脱症状、新生児遷延性肺高血圧症、食欲低下、体重減少、体重増加、出血傾向増強、抗利尿ホルモン不適合分泌症候群、悪心、下痢、胃腸症状、眠気、頻脈、徐脈、低血圧、循環器症状、肝機能障害、昏睡、自殺、心筋梗塞、AVブロック、動脈瘤、肺塞栓症、肺炎、出血性胸膜炎、呼吸器系障害、再生不良性貧血、脳内出血、肺高血圧症、低ナトリウム血症、腫瘍、がん、膵炎、糖尿病、死亡、骨折、受精率に影響	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

ルボックス錠25の相互作用

1. 薬剤名等：モノアミン酸化酵素阻害剤投与中あるいは投与中止後2週間以内

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	-	指示	禁止

2. 薬剤名等：モノアミン酸化酵素阻害剤

発現事象	両薬剤の作用が増強、類薬とMAO阻害剤との併用によりセロトニン症候群	投与条件	-
理由・原因	脳内セロトニン濃度が高まる	指示	禁止

3. 薬剤名等：ピモジド

発現事象	血中濃度が上昇、半減期が延長、QT延長、心血管系の副作用、心室性不整脈＜torsade de pointesを含む＞	投与条件	-
理由・原因	本剤は、肝臓で酸化的に代謝されるこれらの薬剤の代謝を阻害	指示	禁止

4. 薬剤名等：チザニジン塩酸塩

発現事象	血中濃度が上昇、半減期が延長、著しい血圧低下	投与条件	-
理由・原因	本剤は、肝臓で酸化的に代謝されるこれらの薬剤の代謝を阻害	指示	禁止

5. 薬剤名等：ラメルテオン

発現事象	作用が強くあらわれる、最高血中濃度・AUCが顕著に上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤は、肝臓で酸化的に代謝されるこれらの薬剤の代謝を阻害	指示	禁止

6. 薬剤名等：メラトニン

発現事象	作用が強くあらわれる、最高血中濃度・AUCが顕著に上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤は、肝臓で酸化的に代謝されるこれらの薬剤の代謝を阻害	指示	禁止

7. 薬剤名等：アブロシチニブ

発現事象	作用が増強	投与条件	-
理由・原因	本剤は、肝臓で酸化的に代謝されるこれらの薬剤の代謝を阻害し、血中濃度を上昇、血中半減期を延長、又はAUCを増加	指示	原則禁止

8. 薬剤名等：アルコール

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	他の抗うつ剤で作用の増強	指示	希望禁止

9. 薬剤名等：飲酒

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	他の抗うつ剤で作用の増強	指示	希望禁止

10. 薬剤名等：セロトニン作用を有する薬剤

発現事象	セロトニン症候群、セロトニン作用による症状	投与条件	-
理由・原因	セロトニン作用を相互に増強	指示	慎重投与

11. 薬剤名等：セイヨウオトギリソウ含有食品

発現事象	セロトニン症候群、セロトニン作用による症状	投与条件	-
理由・原因	セロトニン作用を相互に増強	指示	慎重投与

12. 薬剤名等：向精神薬との併用

発現事象	循環虚脱、発汗、頻脈、意識障害、死亡、呼吸困難、ミオグロビン尿、血圧変動、腎機能低下、白血球増加、発熱、無動緘黙、嚥下困難、悪性症候群、強度筋強剛、高熱が持続、脱水症状、血清CK上昇、急性腎障害	投与条件	抗精神病薬との併用、向精神薬との併用、抗うつ薬との併用
理由・原因	-	指示	注意

13. 薬剤名等：抗てんかん剤

発現事象	血中濃度を上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤は、肝臓で酸化的に代謝されるこれらの薬剤の代謝を阻害し、血中濃度を上昇、血中半減期を延長、又はAUCを増加	指示	注意

14. 薬剤名等：三環系抗うつ剤

発現事象	血中濃度を上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤は、肝臓で酸化的に代謝されるこれらの薬剤の代謝を阻害し、血中濃度を上昇、血中半減期を延長、又はAUCを増加	指示	注意

15. 薬剤名等：ベンゾジアゼピン系薬剤

発現事象	血中濃度を上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤は、肝臓で酸化的に代謝されるこれらの薬剤の代謝を阻害し、血中濃度を上昇、血中半減期を延長、又はAUCを増加	指示	注意

16. 薬剤名等：オランザピン

発現事象	血中濃度を上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤は、肝臓で酸化的に代謝されるこれらの薬剤の代謝を阻害し、血中濃度を上昇、血中半減期を延長、又はAUCを増加	指示	注意

17. 薬剤名等：クロザピン

発現事象	血中濃度を上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤は、肝臓で酸化的に代謝されるこれらの薬剤の代謝を阻害し、血中濃度を上昇、血中半減期を延長、又はAUCを増加	指示	注意

18. 薬剤名等：ロピニロール塩酸塩

発現事象	血中濃度を上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤は、肝臓で酸化的に代謝されるこれらの薬剤の代謝を阻害し、血中濃度を上昇、血中半減期を延長、又はAUCを増加	指示	注意

19. 薬剤名等：メキシレチン塩酸塩

発現事象	血中濃度を上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤は、肝臓で酸化的に代謝されるこれらの薬剤の代謝を阻害し、血中濃度を上昇、血中半減期を延長、又はAUCを増加	指示	注意

20. 薬剤名等：シルデナフィルクエン酸塩

発現事象	血中濃度を上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤は、肝臓で酸化的に代謝されるこれらの薬剤の代謝を阻害し、血中濃度を上昇、血中半減期を延長、又はAUCを増加	指示	注意

21. 薬剤名等：β-遮断剤

発現事象	血中濃度上昇によると考えられる徐脈・低血圧	投与条件	-
理由・原因	本剤は、肝臓で酸化的に代謝されるこれらの薬剤の代謝を阻害し、血中濃度を上昇、血中半減期を延長、又はAUCを増加	指示	注意

22. 薬剤名等：キサンチン系気管支拡張剤

発現事象	クリアランスを1/3に低下、不整脈、傾眠、めまい	投与条件	-
理由・原因	本剤は、肝臓で酸化的に代謝されるこれらの薬剤の代謝を阻害し、血中濃度を上昇、血中半減期を延長、又はAUCを増加	指示	注意

23. 薬剤名等：シクロスポリン

発現事象	血中濃度上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤は、肝臓で酸化的に代謝されるこれらの薬剤の代謝を阻害し、血中濃度を上昇、血中半減期を延長、又はAUCを増加	指示	注意

24. 薬剤名等：ゾルピデム酒石酸塩

発現事象	血中濃度上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤は、肝臓で酸化的に代謝されるこれらの薬剤の代謝を阻害し、血中濃度を上昇、血中半減期を延長、又はAUCを増加	指示	注意

25. 薬剤名等：クマリン系抗血液凝固剤

発現事象	血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤は、肝臓で酸化的に代謝されるこれらの薬剤の代謝を阻害し、血中濃度を上昇、血中半減期を延長、又はAUCを増加	指示	注意

26. 薬剤名等：メサドン塩酸塩

発現事象	血中濃度上昇	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

27. 薬剤名等：出血傾向が増強する薬剤

発現事象	出血症状＜胃腸出血等＞、皮膚の異常出血＜斑状出血・紫斑等＞	投与条件	-
理由・原因	SSRIの投与により血小板凝集が阻害され、これらの薬剤との併用により出血傾向が増強	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.